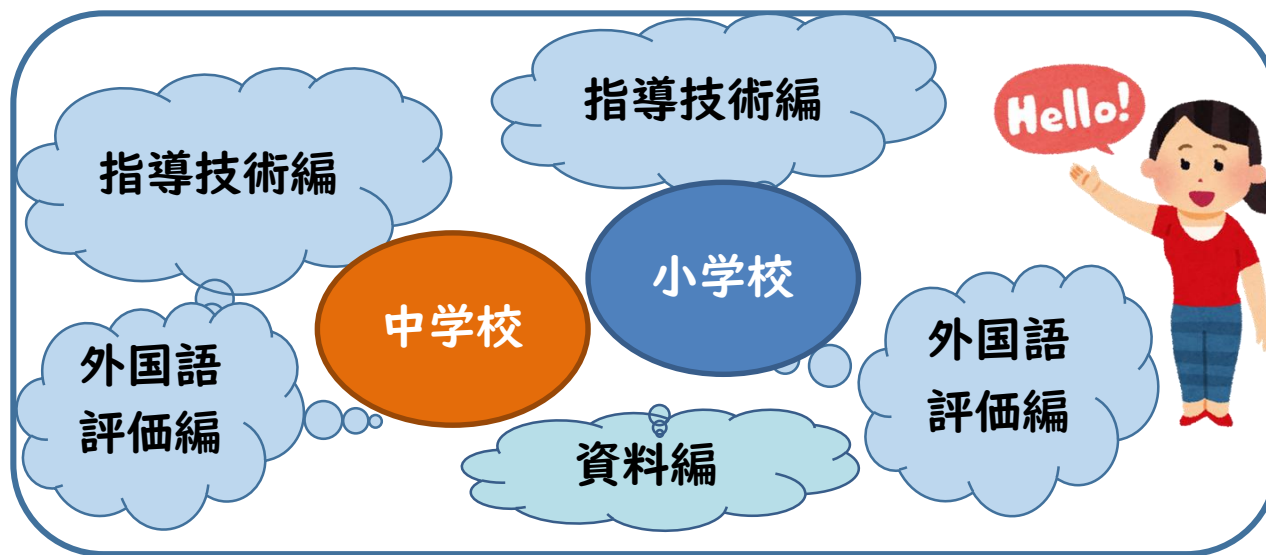


やましろ外国語教育チャレンジサイト

Vol. 3

山城教育局では、新しい学習指導要領で大きく変わる外国語教育について「やましろ外国語教育チャレンジサイト」を立ち上げ、先生方が指導される際の参考となるよう、様々な情報を提供しています。

先生方が新しい外国語教育に積極的にチャレンジしていけるような「やましろ外国語教育チャレンジサイト」でありたいと考えています。また、小中学校双方の情報を紹介することによって、小中接続の一助になればとも考えています。山城外国語教育チャレンジサイトでは主に以下の内容についてご紹介していく予定です。



「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」に基づき資料提供させていただきます。

新しい学習指導要領の趣旨の実現に向け、本資料も参考にしながら、取り組んでいただきますよう、よろしくお願いいたします。随時更新をしますので御意見御感想をお願いします。

山城教育局 yamasiro-k-gakkyo@pref.kyoto.lg.jp

外国語科評価編（中学校）②

小学校も基本は同じ



4つの観点から3つになるということは、今の評価材料を新しい3つの観点到に振り分けたいということですか。



前回の学習指導要領のもとおこなってきた評価材料を分け直すというのでは違います。今回は記録に残す評価手順を説明します。

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	授業の様子 振り返り、レポート パフォーマンステスト	技能	定期テスト 単元テスト ワークシート
外国語表現の能力	定期テスト パフォーマンステスト レポート	判断・表現	定期テスト パフォーマンス テスト レポート
外国語理解の能力	定期テスト ワークシート 単元テスト	主体的に学習に	授業の様子 振り返り パフォーマンス テスト
言語や文化について 知識・理解			

NGです

ただ単に評価材料を4観点から3観点到に振り分けるのではありません

①学習指導要領の目標に沿った評価計画をたてる



学習評価は3つの観点5つの領域で評価をします。
 このように評価時期と評価内容を含む**指導と評価の計画**をつくります。

	聞くこと	読むこと		話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと		
評価時期と 内容	定期テスト	Unit5 単元テスト	定期テスト	パフォーマ ンステスト (U4~U6)	Unit4	Unit5	Unit6	定期テスト
	リスニング	単元テスト の長文	定期テスト の長文	新聞記事を 読んでALT の前でやり 取りを行う	心に残った 名言につい てスピーチ	日本文化を 紹介	グラフを 使って説明 文を書く	表現問題
知識・技能								
思考・判 断・表現	各項目については教科書で扱う題材 や言語材料を見て、「今回は 話すこと [やり取り] を パフォーマンステスト で 見取る」など計画をたててください。							
主体的に学習 に取り組む態 度								

ポイント



例えば1学期の間にどの場面で何をどの領域で見取るのか目標に基づいて計画をたてます。

②評価場面を具体的に決める



どの観点を見取るのか具体的に計画を決めていきます。その時
全ての項目が埋まっている必要はありません。

	聞くこと		読むこと		話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	
	評価時期 と内容	定期テスト	Unit5 単元テスト	定期テスト	パフォーマ ンステス (U4~U6)	Unit4	Unit5	Unit6
リスニング		単元テスト の長文	定期テスト の長文	新聞記事 を読んでALT の前でやり 取りを行う	心に残った 名言につい てスピーチ	日本文化を 紹介	グラフを 使って説明 文を書く	表現問題
知識・技能	○	○		○	○		○	○
思考・判 断・表現	○	全ての項目が 埋まっていな くてもいい		○	○	表現の領域 (一体的に 見取ってい る例)		
主体的に学習 に取り組む態 度	○		○	○	○			○

③記録に残す評価をためていく



計画に基づいて記録に残す評価をおこない、記録していきます。
 評価計画の時に○がついていた所にa~cの評価が入ります。

	聞くこと	読むこと		話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと		
評価時期 と内容	①事前に計画をたてる			パフォーマンス テスト ～U6	Unit4	Unit5	Unit6	定期テスト
	②評価場面を決める			新聞記事 でAL でやり 取りを行う	心に残った 名言に てス			問題
知識・技能	③記録に残す評価をためていく				a	a	b	b
思考・判断・表現	c		b	b	b		b	b
主体的に学習に取り組む態度	c		b	b	b		b	b

この手順で進めていきます。計画的に指導しましょう。

④記録した評価を総括し、観点別評価と評定を出す

	聞くこと	読むこと		話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと		
評価時期 と内容	定期テスト	Unit5 単元テスト	定期テスト	パフォーマ ンステスト (U4~U6)	Unit4	Unit5	Unit6	定期テス ト
知識・技能	b	a		a	a		b	b
思考・判 断・表現	c		b	b	b		b	b
主体的に学 習に取り組む 態度			b	b				

Step1
評価を総括する



Step2
観点別評価

Step3
評定

	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	観点別評価	評定
知識・技能	b	a	a	a	b	A	3
思考・判断・ 表現	c	b	b	b	b	B	
主体的に学習 に取り組む態度	c	b	b	b	b	B	

確認1



	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	観点別 評価	評定
知識・技能							
思考・判断・表現							
主体的に 学習に取り組む 態度							

各単元・学期等で、すべての領域・観点について記録に残す評価を行う必要はない。

学年末に評価を総括し、指導要録に記録する際に全ての評価情報がそろってればいい。

確認2



外国語科評価編(中学校)②では記録した評価を総括し、観点別評価と評定を出す具体例を紹介しましたが評価について根本的なことをしっかり確認しておきましょう。

- ①「評価」は生徒が**自信をつけるもの、学習意欲を向上させるもの**
⇒教師の「**指導改善**」生徒の「**学習改善**」につながる
- ②生徒ができるようになってから「**記録に残す評価**」を行う
⇒評価場面は**単元末**もしくは**学期末**でおこなう
「**指導改善**」「**学習改善**」を繰り返し、生徒の力を**評価できる状態**まで育てる
- ③英語は“**言葉**”であるということ
使う場面を与えて時間をかけて、意図的な指導で力を育成する
⇒**学ぶ時期**と**身につく時期**は違う



学習評価について考えることは「授業(指導)」について考えること。
指導と評価の一体化を目指しましょう!